

内視鏡検査時の静脈麻酔（鎮静剤）注射の使用について

～説明と承諾書～

【目的】

- ◆ 当院では内視鏡検査を行う際に苦痛や不安を少なくする為に、ご希望の方には静脈麻酔（鎮静剤）の注射を行っております。
※静脈麻酔（鎮静剤）の効果は個人差が大きく、頭がボーッとする程度の方もいれば完全に眠ってしまう方もいます。
アルコール多飲者や日常向精神薬の内服があれば効果が少ないことも稀にあります。

【副作用・偶発症】

- ◆ フラツキや転倒 検査終了後、眠気が残り足元がふらつくことがあり、転倒の恐れがありますので、1～2時間程休んでからお帰り頂きます。
- ◆ 静脈麻酔（鎮静剤）によって呼吸が弱くなることがあります。（呼吸抑制）
血中酸素濃度を測定しながら十分注意して検査を行います。
- ◆ 酔っ払ったとき同様、注意力の低下や細かい判断が鈍くなったりします。
また、薬が効いている間の記憶が残らないで、全く覚えていない方もいます。
（注意力低下、逆行性健忘）
- ◆ まれに血圧低下やショック状態、意識レベルの低下がもたらされていることがあります。消化器内視鏡関連の偶発症に関する全国調査によりますと、2003年～2007年の偶発症における死亡例は0.00002%という結果が出ています。

【注意点】

- ◆ 静脈麻酔（鎮静剤）を使用した場合、自転車・バイク・車の運転は危険です。完全に眠気やフラツキなどなくなり、全くの正気になるまで運転が出来ません。
- ◆ 転倒防止のため、検査後は十分休んでから帰宅して頂いています。
お帰りを急がれる場合は、静脈麻酔（鎮静剤）が使用出来ません。

~~~~~  
以上、静脈麻酔（鎮静剤）使用による利点と欠点・危険性を十分理解した上で

静脈麻酔（鎮静剤）の使用を （ 希望します ・ 希望しません ）

※ どちらかを○で囲んで下さい。

署名年月日： 2018 年 月 日

患者本人署名 \_\_\_\_\_

代理人 署名 \_\_\_\_\_

（続柄 \_\_\_\_\_）